

## 第2章 感染症及び食中毒統計

### § 1 一類、二類、三類、四類及び五類感染症等

医療技術の進歩により、多くの感染症が克服されてきた一方で、新たな感染症の出現や既知の感染症の再興により、感染症予防に関する施策の抜本的な見直しが必要となり、平成11年4月「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下「感染症法」という。)が「伝染病予防法」にかわり新たに施行された。

感染症法では、発生した場合の危険性等から全113疾病について一類から五類までの5つの類型等にわけ、それぞれの対応が決められている。なお、令和2年2月1日からは、新型コロナウイルス感染症が指定感染症に規定され、届出対象疾患となった。

表 45 年次別届出数(一類、二類、三類感染症及び指定感染症)

令和2年									
	一類感染症	二類感染症	三類感染症					指定感染症 (新型コロナウイルス感染症)	総 数
	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱	急性灰白髄炎、ジフテリア、SARS、MERS、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9) (結核は別集計)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス		
平成 30 年	-	-	-	3	45	-	-	-	48
令和 元 年	-	-	-	1	27	2	-	-	30
令和 2 年	-	-	-	1	34	1	-	4,859	4,895
川 崎	-	-	-	-	12	-	-	1,379	1,391
幸	-	-	-	-	6	-	-	512	518
中 原	-	-	-	-	1	-	-	865	866
高 津	-	-	-	-	2	1	-	657	660
宮 前	-	-	-	-	9	-	-	532	541
多 摩	-	-	-	-	3	-	-	453	456
麻 生	-	-	-	1	1	-	-	461	463

注) 新型コロナウイルス感染症は令和2年2月1日から指定感染症となった。

資料: 健康安全研究所